

東京大学医学部附属病院の概要 2026

1



理念

当院は臨床医学の発展と医療人の育成に努め、
個々の患者に最適な医療を提供する

目標

- 患者の意思を尊重する医療の実践
- 安全な医療の提供
- 先端的医療の開発
- 優れた医療人の育成
- 働きやすい職場環境の実現

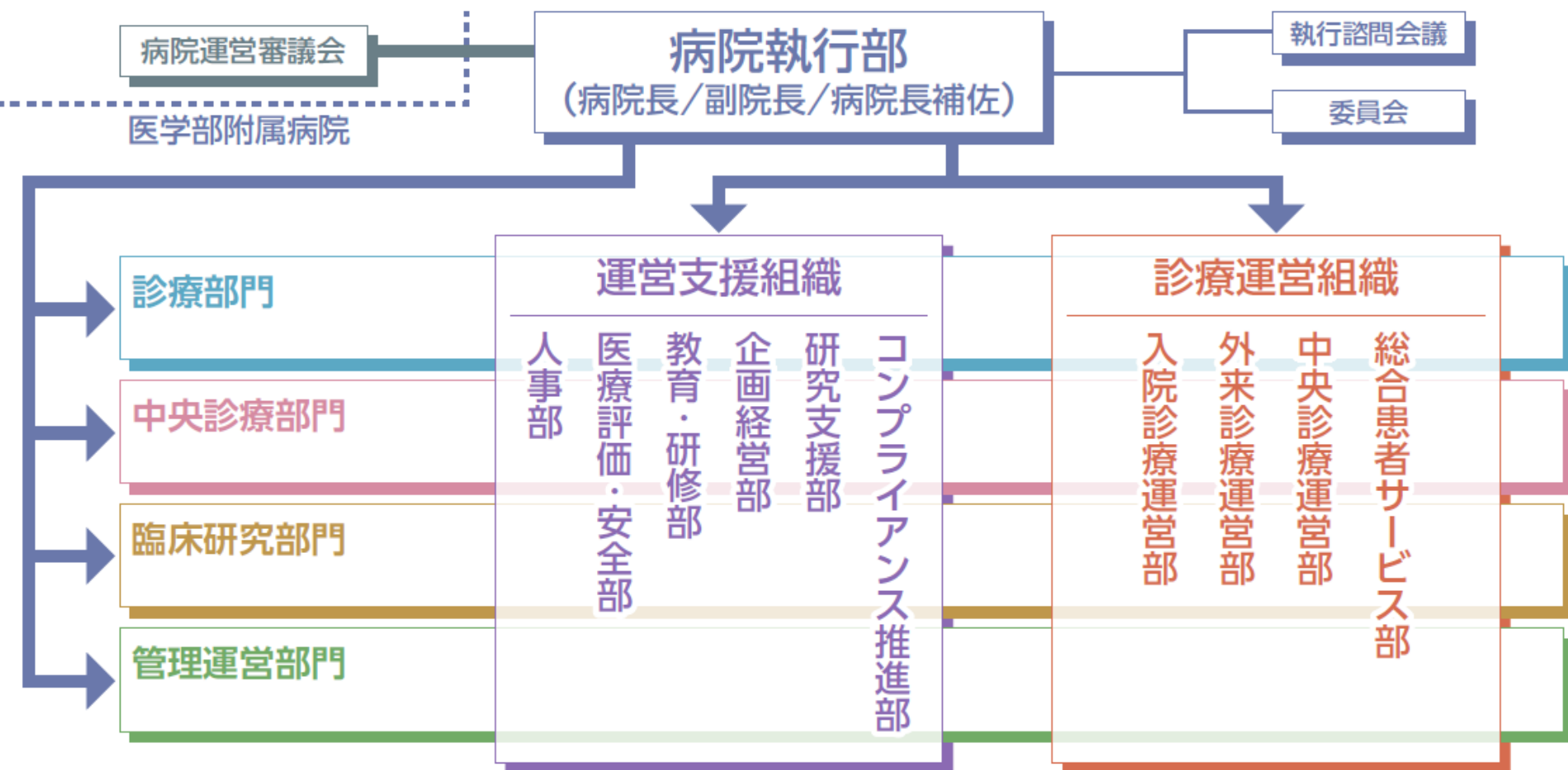


病院長 久米 春喜

東京大学医学部1989年卒 医学博士
東京大学大学院医学系研究科 泌尿器外科学 教授
東京大学医学部附属病院 泌尿器科・男性科 科長
2026年6月より東京大学医学部附属病院長

東大病院 機構図

3



病院運営審議会

- － 年6回開催
- － 本部・医学部・外部委員・病院教職員により構成
- － 病院の運営に関する重要事項について病院長からの諮問に答申することを目的とする

監査委員会

- － 年2回開催
- － 本部・外部有識者（医療関係者、弁護士、医療を受ける者）により、構成
- － 医療に係る医療安全管理の適切な実施を監査

執行部会

- － 病院の意思決定及び執行機関（週1回開催）
- － 構成（病院長の指名制）
病院長、副院長4名、
病院長補佐12名

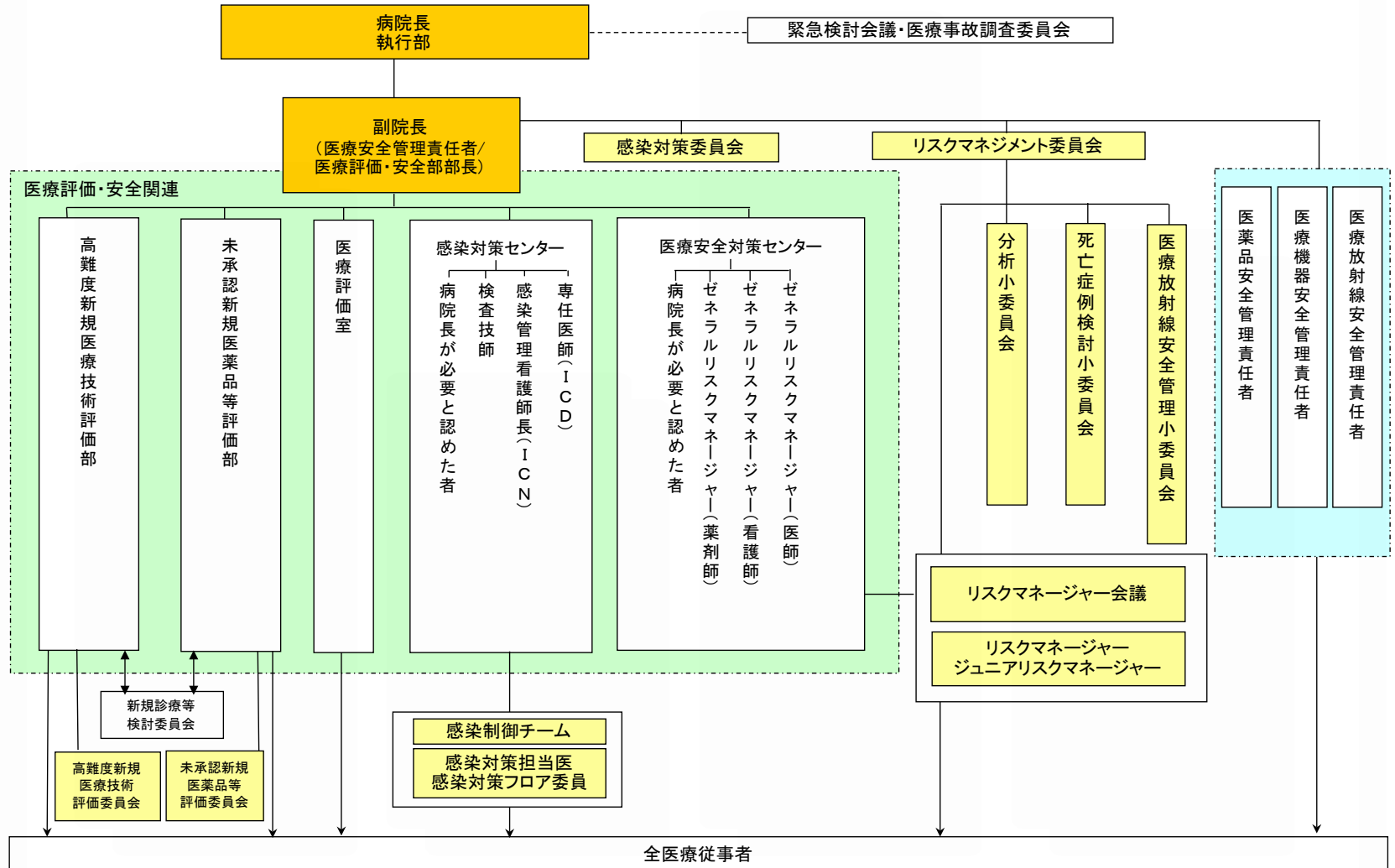
執行諮問会議

- － 月1回開催
- － 診療科長、副診療科長等により構成
- － 病院長が病院運営全般に関して付議した事項について意見収集及び周知することを目的とする

安全管理体制組織図

5

医療安全管理体制組織図(医療安全・院内感染・医薬品・医療機器・放射線)



- ・ 保険医療機関
- ・ 特定機能病院
- ・ 救急告示病院
- ・ 救命救急センター
- ・ 災害拠点病院
- ・ DMAT指定医療機関
- ・ 東京都こども救命センター
- ・ 臨床研修病院
- ・ 臓器移植施設（心臓、肺、肝臓、腎臓）
- ・ 臨床修練指定病院
- ・ 臨床研究中核病院
- ・ がんゲノム医療中核拠点病院
- ・ 地域がん診療連携拠点病院
- ・ 総合周産期母子医療センター
- ・ エイズ治療拠点病院
- ・ DPC対象病院
- ・ 紹介受診重点医療機関

1. 病床数：1,208床（R8.4.1現在）

一般病床：1,147 床、精神病床：40 床、保険外病床：21床

2. 令和7年度受診者数及び診療報酬請求額等

入院：延べ331,714人（1日平均：909人）

外来：延べ635,658人（1日平均：2,595人） ※外来受診及び人間ドック受診者数。

新入院患者数：29,618人、平均在院日数：一般 10.6日 精神 30.6日

診療報酬請求額：570億9600万円（入院：385億6400万円）

（外来：185億3100万円）

入院診療単価：116,257円、外来診療単価：29,153円

救急患者数：11,993人、3次救急：656人

手術部手術件数：12,664件、分娩件数（妊娠22週以降）：1095件

臓器移植件数：179件

3. 職員数：4,480人（R8.4.1現在、短時間有期雇用職員等を含む。）

医師（含研修医、歯科医師）：1,727人 教員・研究員等：60人

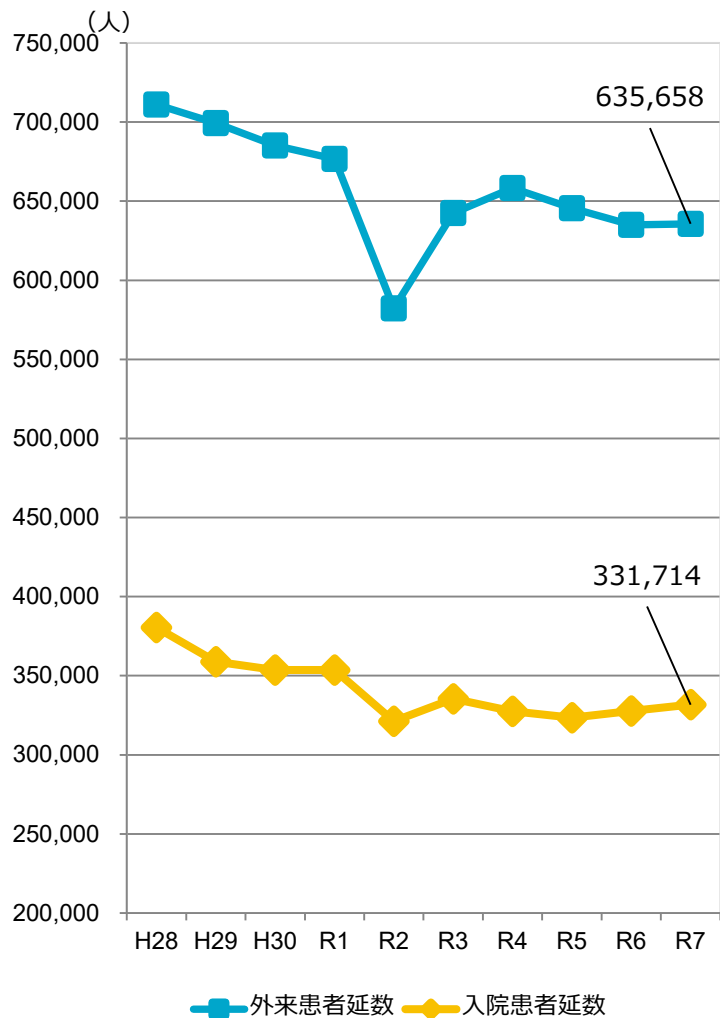
看護職：1,553人 医療技術職員：447人

事務職員等：693人

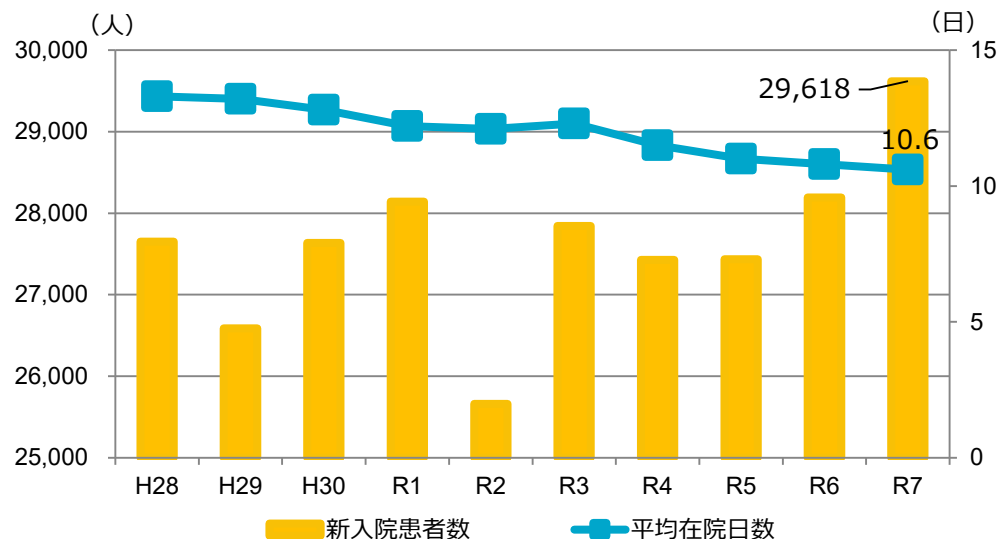
病院機能指標 ①：患者数

8

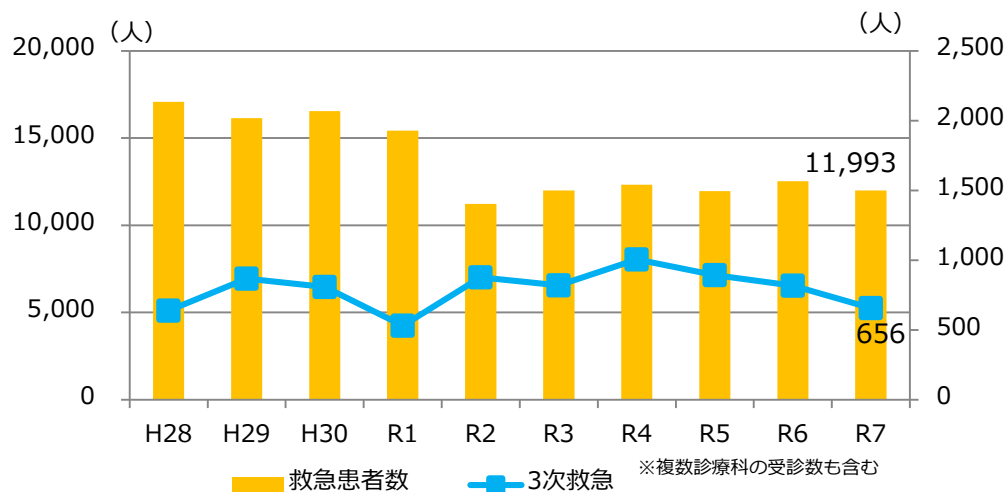
(1) 患者数の推移



(2) 新入院患者数と平均在院日数の推移



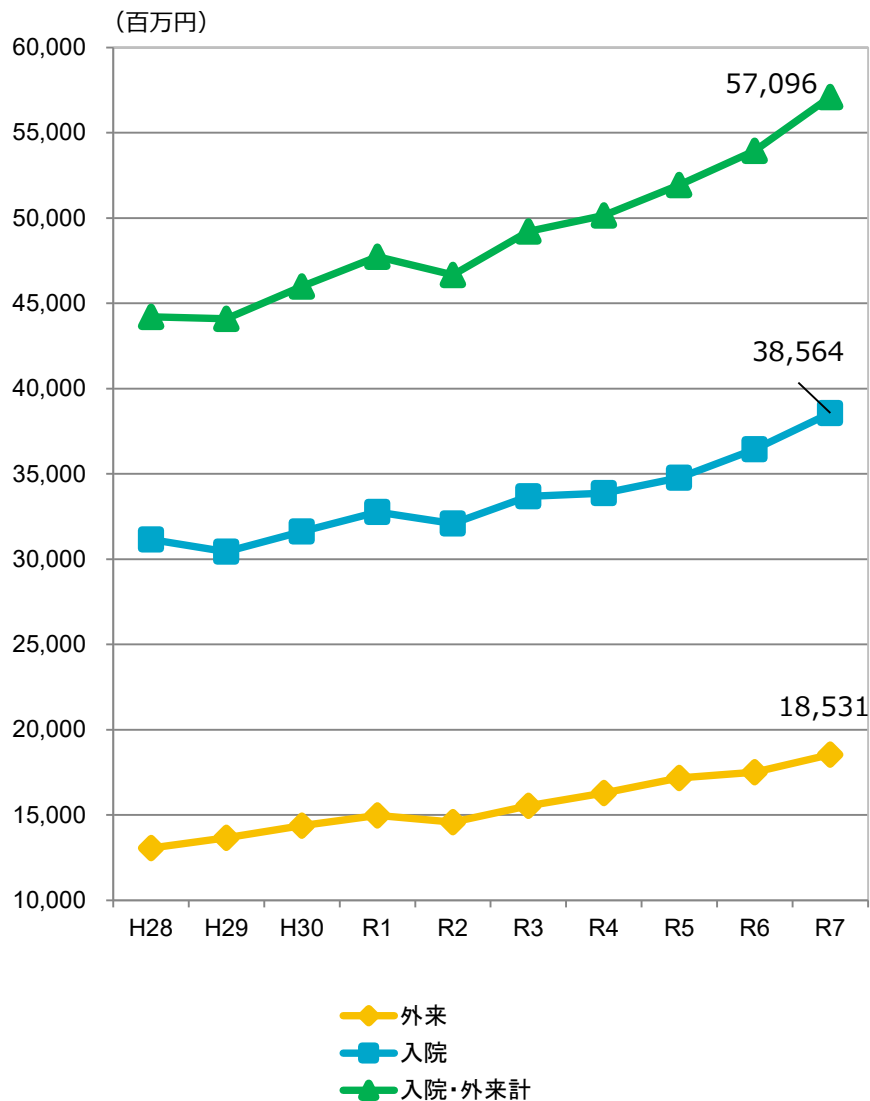
(3) 救急患者数の推移



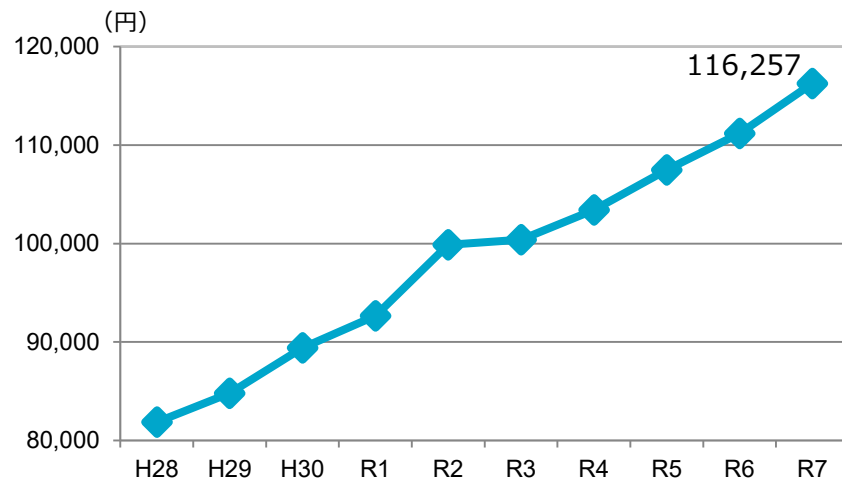
病院機能指標 ②：診療報酬

9

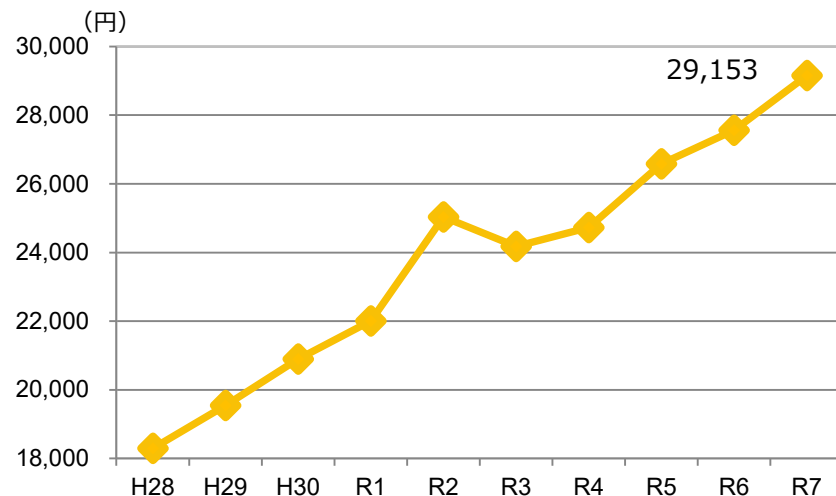
(4) 診療報酬請求額の推移



(5) 入院診療単価の推移



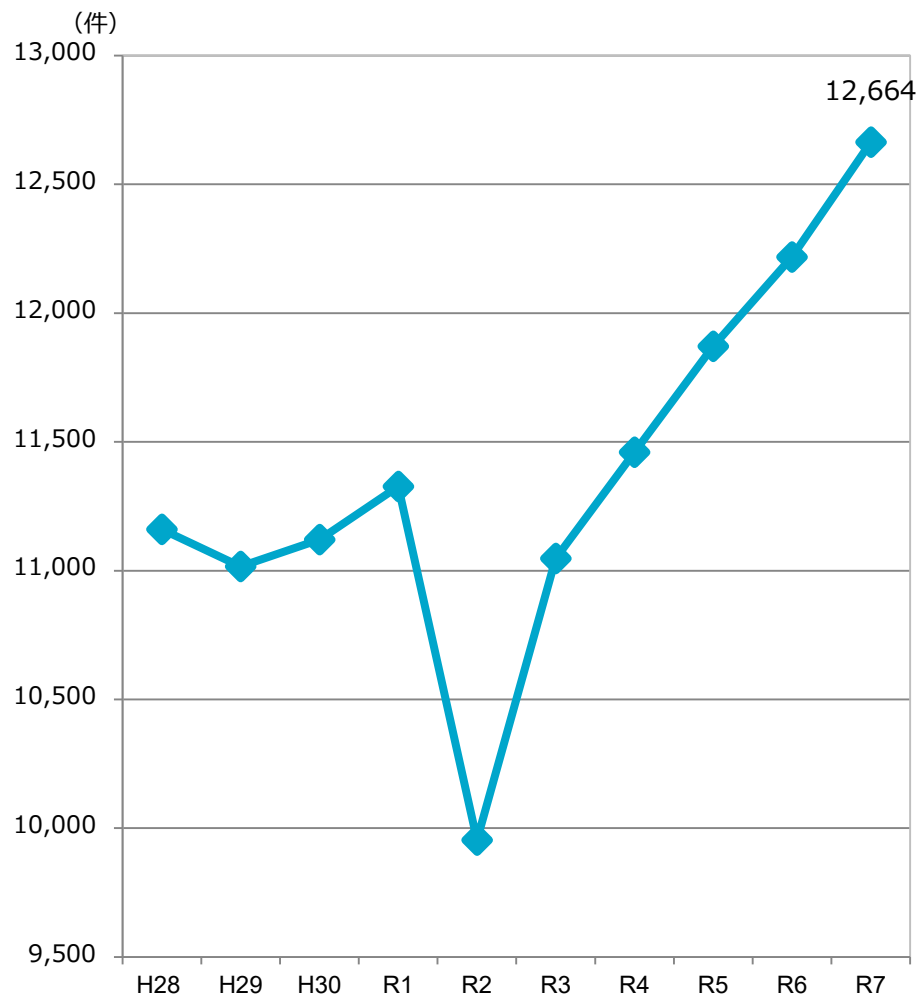
(6) 外来診療単価の推移



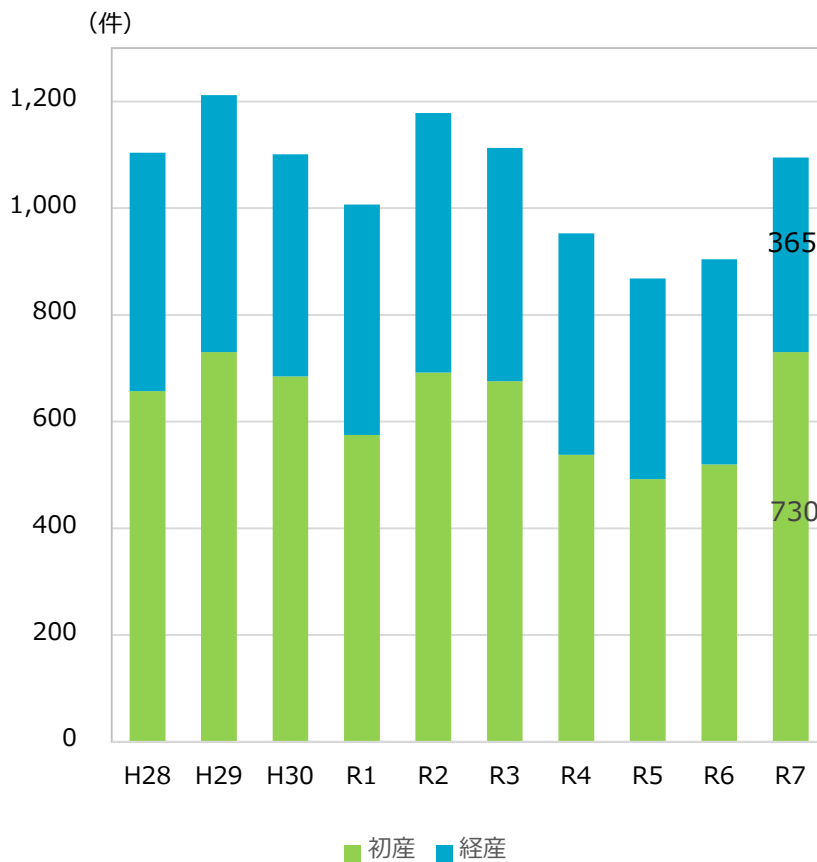
病院機能指標 ③：手術・分娩件数

10

(7)手術部手術件数の推移



(8)分娩総数の推移



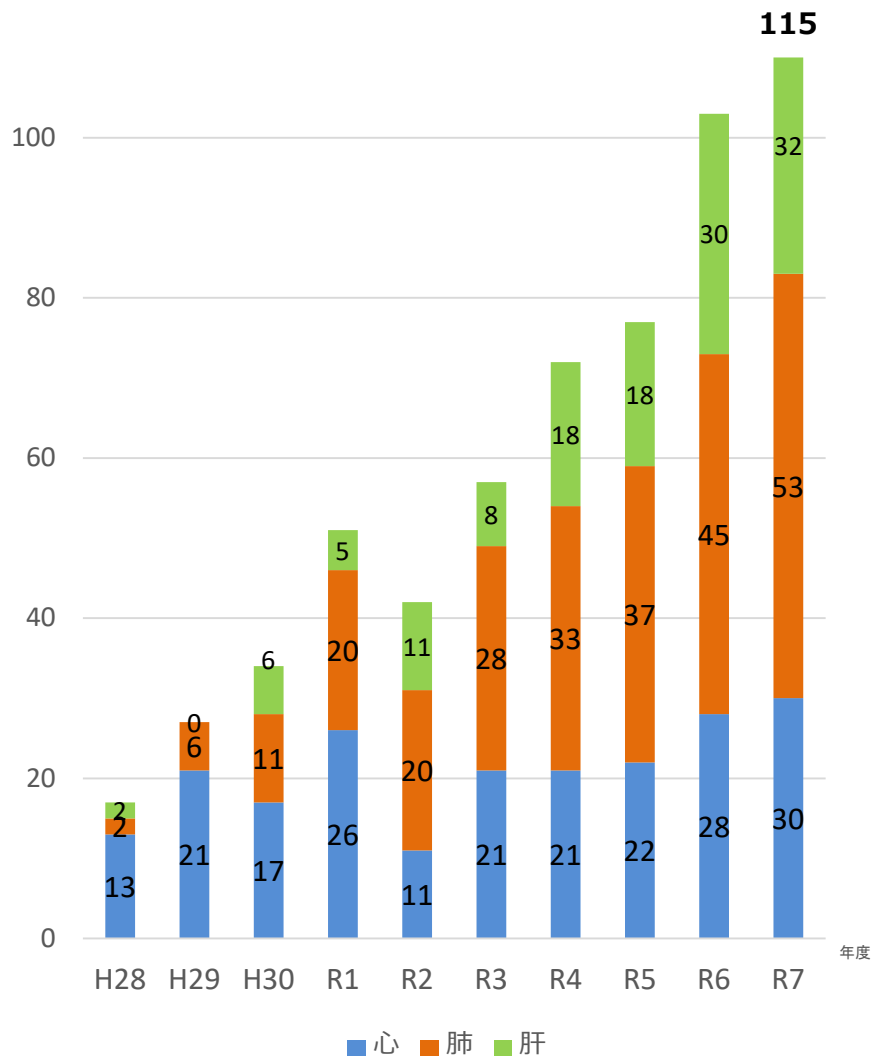
病院機能指標 ④：臓器移植件数

11

(1) 臓器移植件数の推移 (全体)

	年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
肝移植	生体	21	14	31	31	50	56	54	58	51	49
	脳死	2	0	6	5	11	8	18	18	30	32
腎移植	生体	4	5	5	2	5	5	6	7	5	7
	献腎	2		1		1		3	3	1	2
肺移植	生体		3		6	8	7	2	2	3	6
	脳死	2	6	11	20	20	28	33	37	45	53
心臓移植		13	21	17	26	11	21	21	22	28	30
心肺同時											1
合計		44	49	71	90	106	125	137	147	163	180

(2) 脳死臓器移植件数の推移



地域医療連携会

12

令和7年11月6日、第11回地域医療連絡会を開催しました。

より多くの皆様にご参加いただけるよう、初めて院外の広い会場を使用して開催となりました。
地域医療機関の皆様と当院スタッフが一堂に会し、顔の見える関係をさらに深める貴重な機会となりました。



【第一部】講演会の様子



【第二部】懇親会の様子



懇親会では、地域医療連携センターの公式キャラクター「Fuwappy（フワッピー）」をお披露目し、会場は和やかな雰囲気になりました。

参加者数の推移

第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回	第11回
H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
118名	128名	135名	159名	167名	Web配信 視聴回数 1,964回	Web配信 視聴回数 1,552回	Web配信 視聴回数 7,463回	ハイブリット開催 会場約40名 オンライン 約100名	204名	273名

東大病院アワード チーム部門

3つの視点「貢献度、技能及び労力、発展性」から総合的に評価され、チーム部門においては最優秀賞 1 チーム、優秀賞5チームが受賞しました。

最優秀賞 A6南病棟

◆受賞理由◆

- ①整形外科・脊椎外科の固有床を有するA棟6階南病棟において、多数の入院患者にも関わらずきめ細やかな病床運営により令和7年度院内第1位の病床稼働率を達成した。
- ②一般病棟のうち、最も高い病床稼働率(90.9%)を維持して病院経営に大きく貢献しており、他の模範となった。

東大病院アワード 個人部門

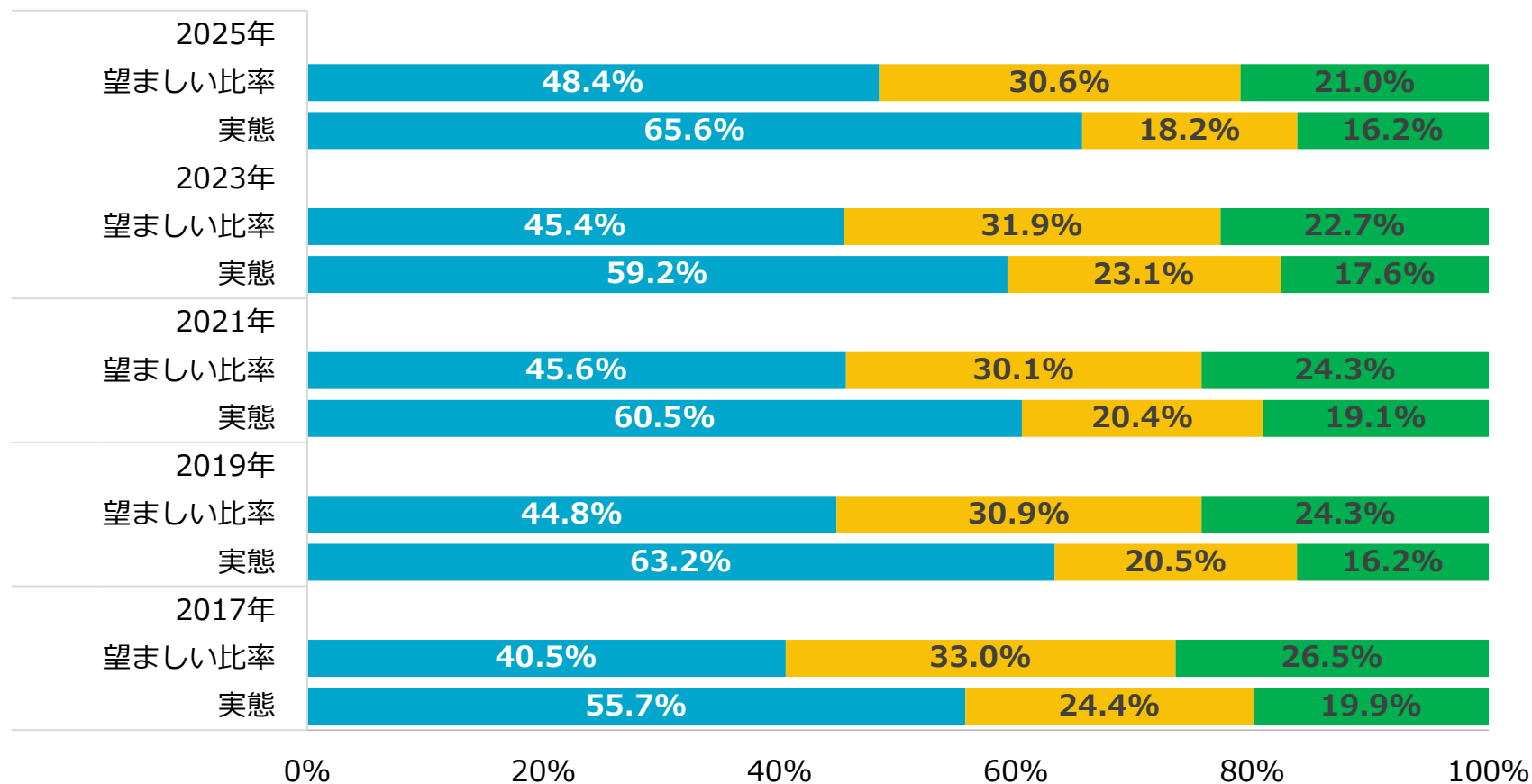
個人部門においては、広く院内から募った推薦を経てベストスタッフ賞を9名が受賞しました。



診療科(部)長を対象としたアンケートから見た 大学病院における診療、教育、研究の比率

14

■ 診療 ■ 研究 ■ 教育

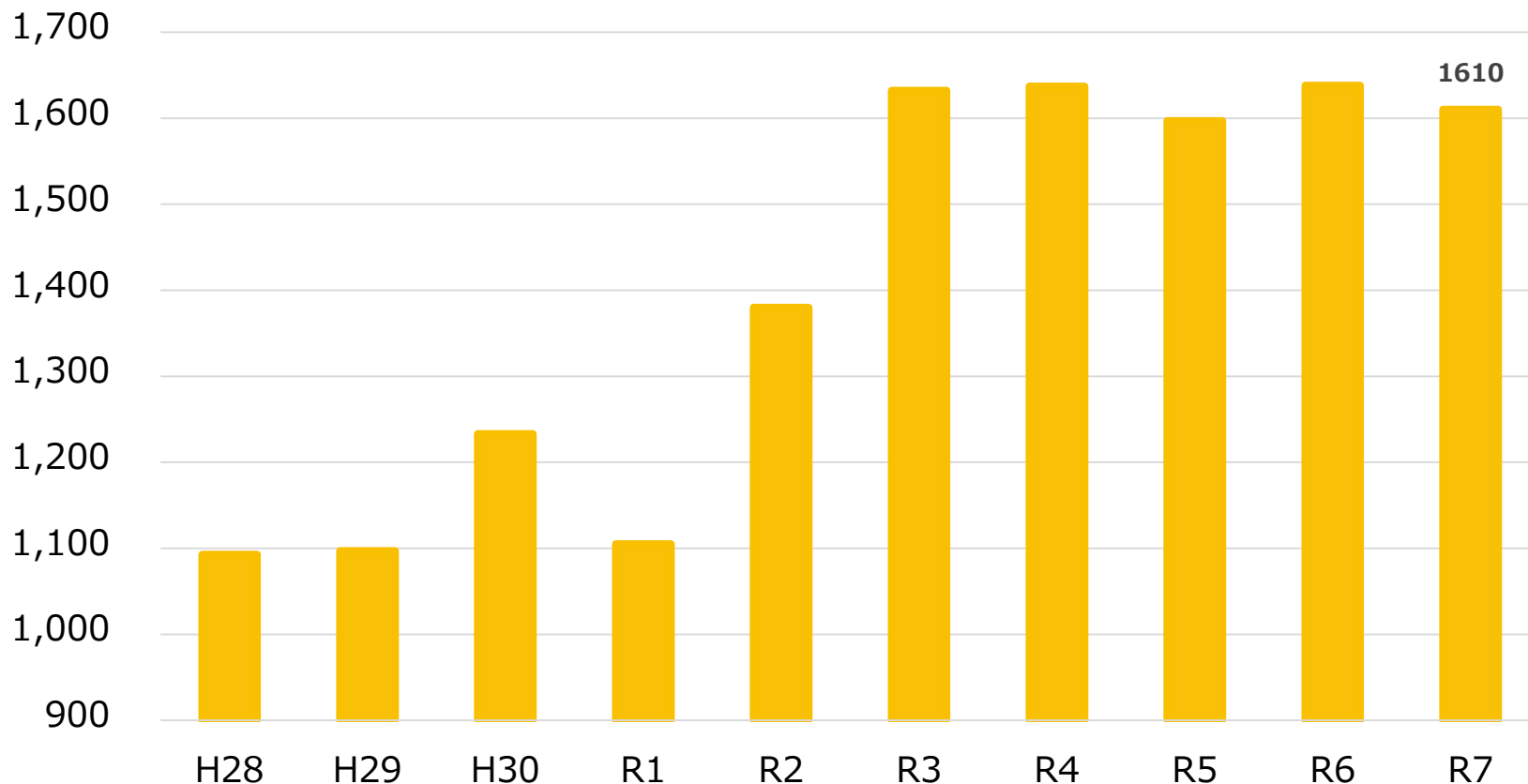


※アンケート回答率) 2025年 : 78% 2023年 : 85% 2021年 : 73% 2019年 : 95% 2017年 : 97%

東大病院所属のものが著者に含まれる 英文原著論文数の推移

15

(単位：編)

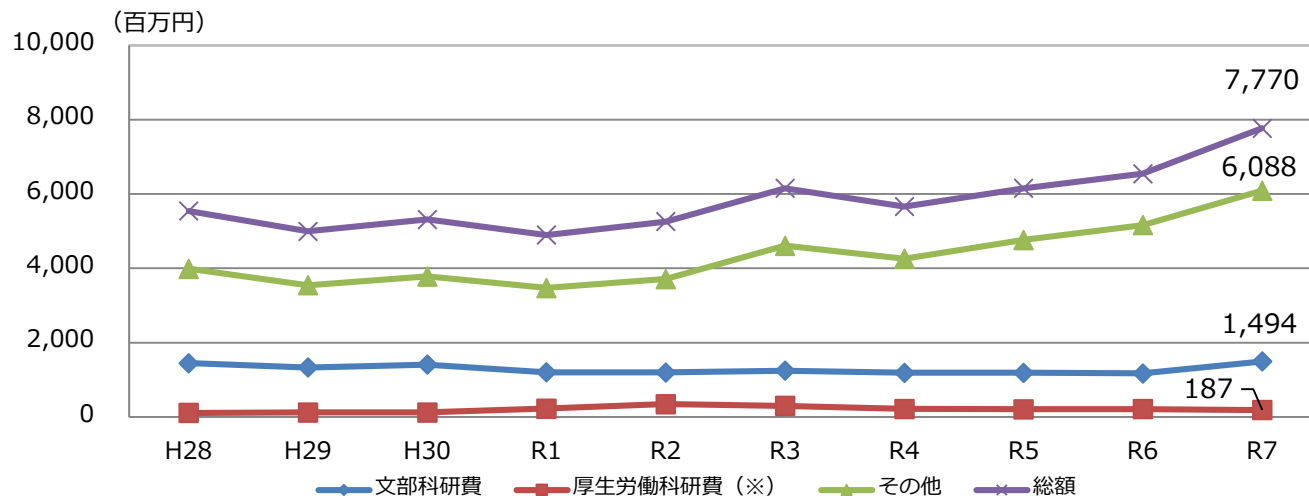


※診療科（部）長から前年分として報告のあった論文のうち、PMIDが付されている論文集計
※所属が東大病院であればその形態（学生・スタッフ、常勤・非常勤の別等）は問わない

研究費獲得の推移

16

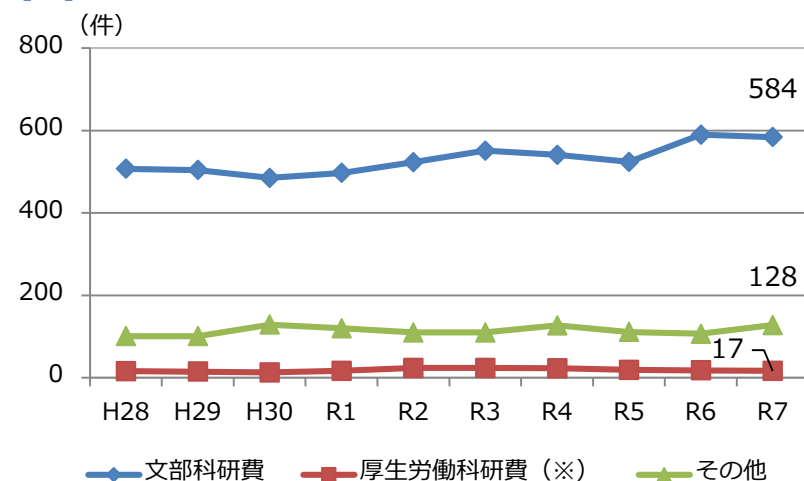
(1) 研究費獲得総額の推移



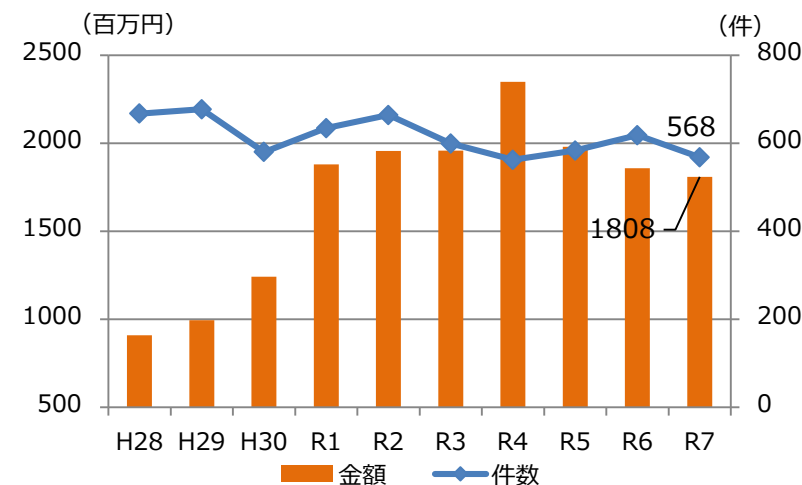
【その他の主な内訳】

- ・ 医療研究開発推進事業費補助金
- ・ 感染症予防事業費等補助金
- ・ 医療施設運営費等補助金
- ・ 戦略的イノベーション創造プログラム (SIP)
- ・ 科学技術振興機構 (JST) 委託費
- ・ 日本医療研究開発機構 (AMED) 委託費

(2) 研究費獲得件数の推移

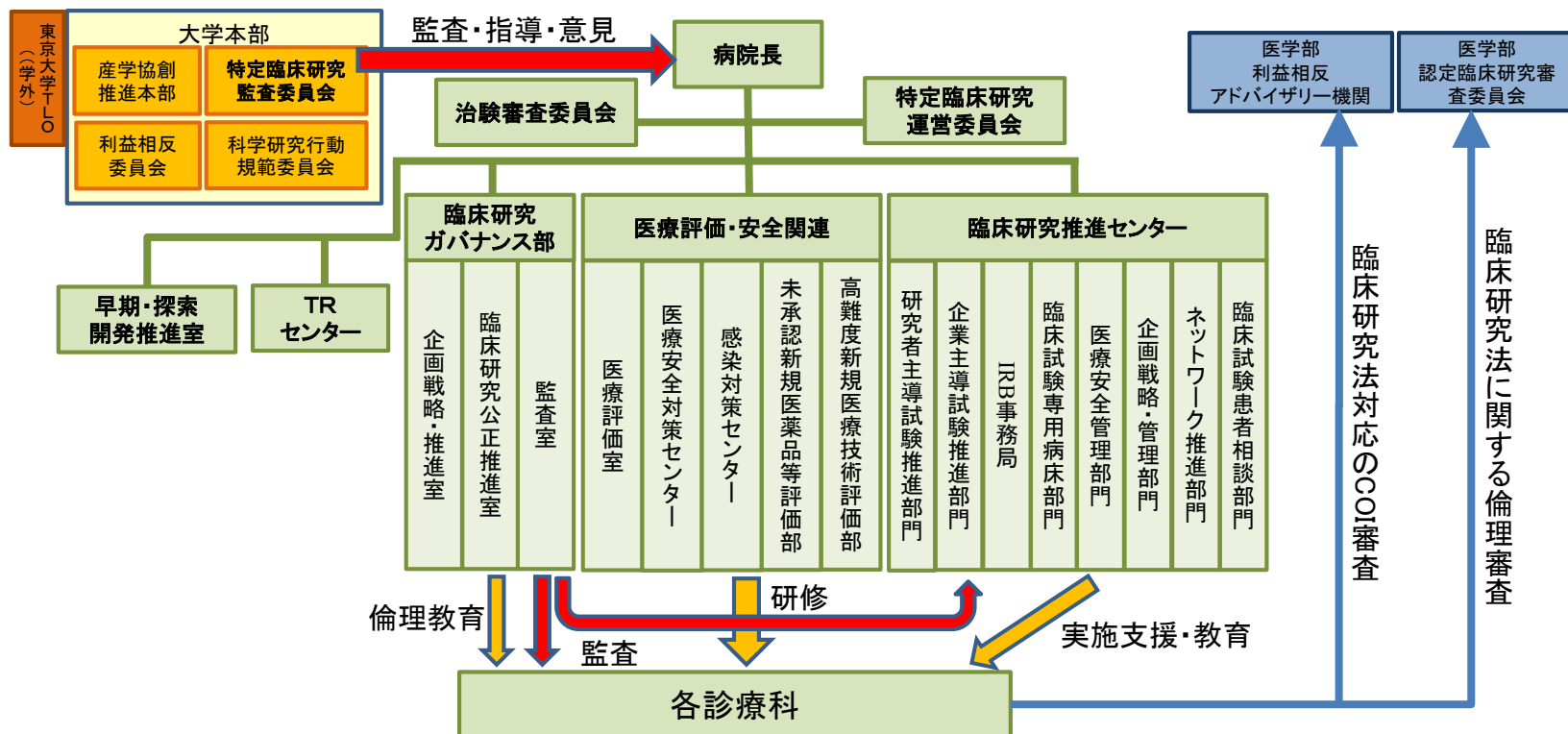


(3) 受託・共同研究の推移

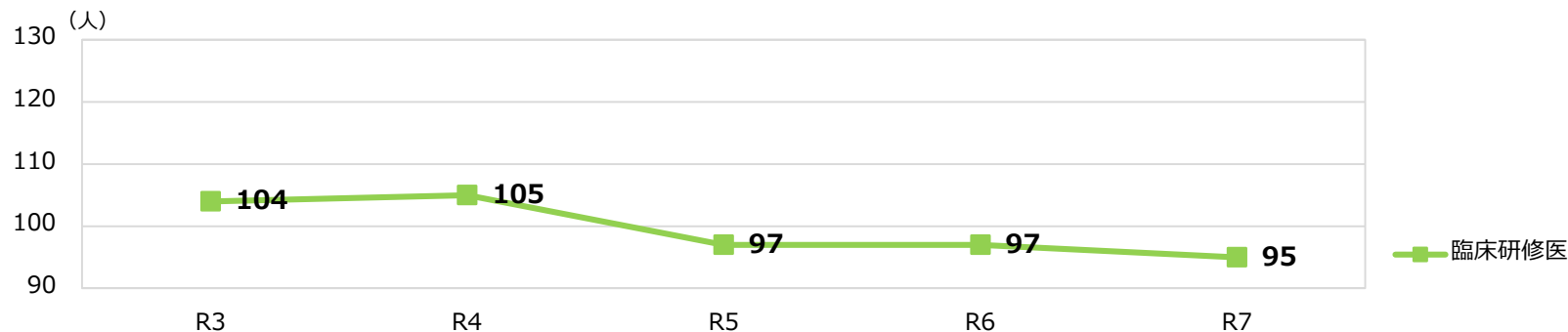


特定臨床研究に関する体制

17



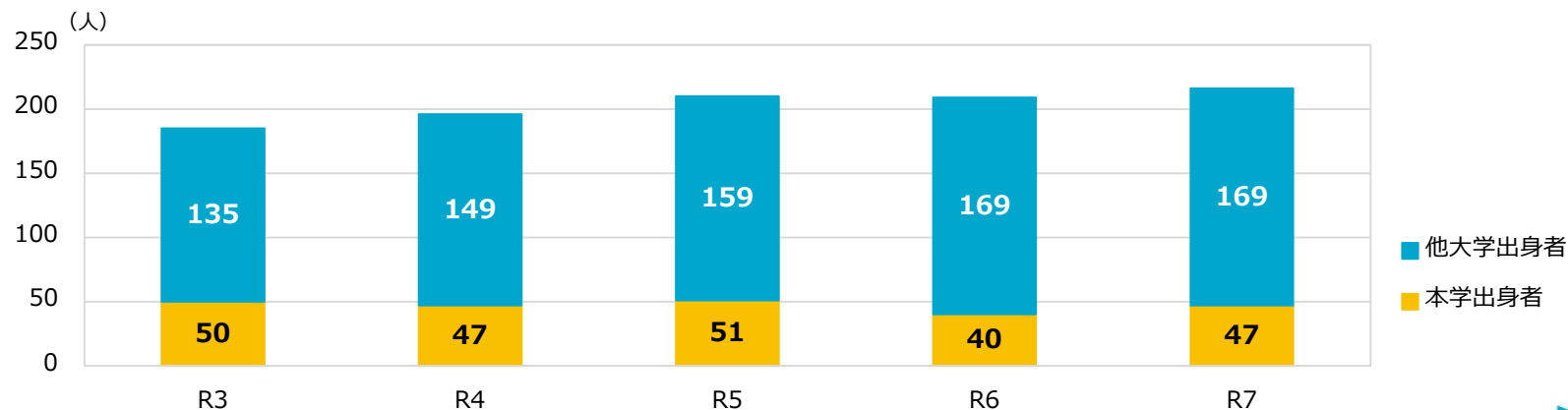
(1) 医師臨床研修プログラム（マッチング数）



※臨床研修医…医学部を卒業し、医師免許を取得した医師が、プライマリ・ケア（病気の初期診療）の基本的な診療能力（態度・技能・知識）を身に付けるために、2年間の医師法に基づく臨床研修を受けている医師

※マッチング（研修医マッチング）…医師免許を得て臨床研修を受けようとする者と臨床研修を行う研修病院の希望を踏まえ、一定の規則に従い組み合わせを決定

(2) 専門研修プログラム（基本領域の新規登録者数）



※専門研修プログラム…臨床研修修了後に専門医となるためのプログラム

小児科病棟ホスピタルアート

19

自然や季節の移ろいを感じながら想像力を育む空間を目指して、小児科病棟に、新しくアートを導入しました。妖精とめぐる四季の物語を描いた壁面アートで、困難に立ち向かう子どもたちに寄り添います。

コンセプト

「自然の中の公園」
「子どもたちに寄り添い、
想像力を育む空間」
「四季・自然・東大らしさ」



タイトル：季節を連れて世界をめぐる妖精のものがたり

■作家について■

紙野 夏紀（かみの なつき）さん
京都市立芸術大学デザイン科プロダクトデザイン専攻
卒業。2007年よりイラストレーターとして活動し、
書籍、広告、雑誌でイラストレーション制作を手がけるほか、2014年よりオリジナルのテキスタイルを制作開始。

撮影：木村雅章

アートディレクション：アートプレイス株式会社

■ホスピタルアート導入目的

- ▶ 入院中の子どもたち・ご家族が安心して過ごせる環境づくり
- ▶ 病棟廊下を、自然や季節の移ろいを感じられる空間へ改善
- ▶ 移動中の小さな発見や想像を促す仕掛けを配置